

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【公開番号】特開2000-94583(P2000-94583A)

【公開日】平成12年4月4日(2000.4.4)

【出願番号】特願平10-269103

【国際特許分類第7版】

B 3 2 B 25/08

B 2 9 C 35/02

// B 2 9 K 105:24

B 2 9 L 9:00

【F I】

B 3 2 B 25/08

B 2 9 C 35/02

B 2 9 K 105:24

B 2 9 L 9:00

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月1日(2005.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、成形品の表面に耐候性に優れる塗料を後塗りする方法は、特にゴム製品が圧縮・伸張されて使用されるものである場合、後塗りした塗膜自体が圧縮・伸張の連続に追従できなくなり、剥離する等が生じやすいため、実用的には好ましい方法ではなかった。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

さらに、製品母体は、典型的には、非シート状の立体成形物が良い。このような立体成形物の耐性を簡易に向上去きれば、産業上のメリットが大きいからである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

また、熱可塑性かつ弾性を有するポリオレフィン系樹脂および熱可塑性かつ弾性を有するポリオレフィン系コポリマーアロイそれぞれは、多くの汎用ゴムとの相溶性が良く、汎用性が高く、材料単価が手頃(400~700円/Kg)で、耐候性、耐薬品性、耐油性等にも優れています。然も、とり扱い易いため、本発明の被覆層として特に好ましい。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

1. 第1の実施例

駐車場やトラックターミナル等の壁面やゲートに装着して使用され車衝突時に緩衝効果を有するゴム製品（以下、緩衝ゴム）に、本発明を適用する例を説明する。図1（A）は、この緩衝ゴム11の平面図である。図1（B）は、この緩衝ゴム11を、図1（A）のI-I線に沿って切った断面図である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

次に、この製品母体11aの湾曲面側の表面に、被覆層11bの形成用の膜状物として、上述したエチレン酢酸ビニル共重合体のシートを好適な手段（ここではセロテープ（登録商標））で仮止めする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0075

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0075】

【発明の効果】

上述した説明から明らかなようにこの出願のゴム製品の発明によれば、製品母体の本来の特性を損ねることなく、長期間に渡って、ゴム製品の耐候性、耐薬品性、耐油性等が保持されるゴム製品を提供することができる。また、被覆層自体が万一破損した場合でも、該破損部分を熱融着手段により容易に補修することができる。また、被覆層自体を任意に着色する等により、製品の付加価値を向上させることもできる。